



国保特別会計

1億2.165万円

**昭和32年度**

紙上なので、大づかみで大へん恐縮ですが、ここに昭和三十三年度長岡市の予算内容を市民のみなさんにご報告いたします。  
この予算は来年の三月三十一日までの長岡市収入支出の見積りで

人、七萬三十四人

消防職員の給料、諸手当、旅費等の入件費や、消防自動車ボンブ、ポンプ一台可搬式動力消防ポンプ(台付)四台ポンプ台車及び設備の充実を図ることも、上川西、新潟下川西、深才、大谷、各町に井戸及び貯水槽の新築工事をする経費などがあります。

また、このなかに水防に要する五三万円の水防費も計上されています。

# 消防費

この土木費からまがなわれる主なものは、道路、橋梁の維持修繕費及び新設、改良、河川堤防の改修復旧、都市計画事業、県營工事に対する負担金、自動車の運営費などです。

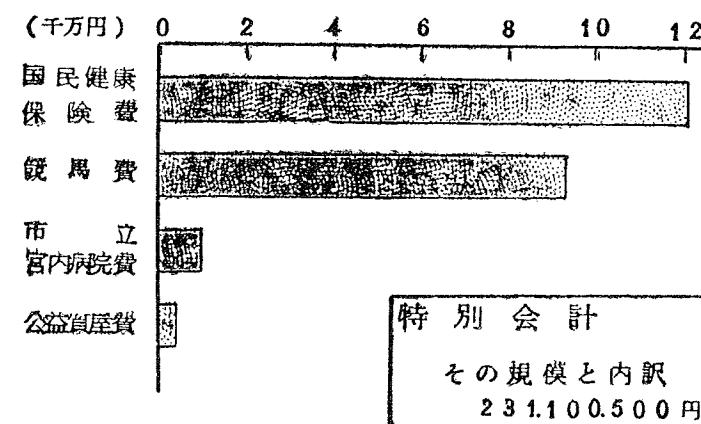
二九件の市道の新設改良のための工事費、用地賃料、物件補償料が組まれています。一方、橋梁維持修繕費（二五五万円）は柏川橋外八件の橋梁維持修繕工事費や小破修繕、補修材料費などがあり、新設改良費（二四一万円）のうちには白山橋以下二件の新設、架換工事の経費その他があります。河川堤防の改修、災害復旧費（三二八万円）には赤川改修工事外四件のしんせつ（泣きい）費、微料その他があり、堺川外六件の災害復旧工事費も同時に組まれています。

また都市計画事業費（三、〇八四万円）のなかには、城内、瀬線街路舗装費外二件、戦災復興費（一、四九〇万円）、街路整備費（概下、永田線の三十一年度から）の繰越事業、街路整備費（柳吉地区三千分ノ一の航空写真地図購入費）その他があります。

なおこのほかには、国際道事務の県営工事負担金（七六九万円）や、自動車運転に必要な費用、天気相談所運営経費、土地買収の費用としての土木諸費（一、二〇二万円）があります。

|   |
|---|
| 教育に要する費用が組まれています。   |
| 特に主な事業費をあげますと、  |
| 下川西統一小学校（一〇九二万円）、黒木、浦瀬小学校各2教室の建築（四二五万円）、柿、大島両小学校屋内運動場移築、新築（八七二万円）、神田、川崎等小学校的ブール建造（四四〇万円）、学校給食に必要な経費（三九〇万円）などがあります。また負担金関係では、長岡高建設負担金（二六二万円）、長岡商校建設負担金（一〇〇万円）、長岡社学生寮建築補助金（一〇〇万円）などがあります。 |
| なお 項目別予算額を ならべます  |
| ○教育委員会費 一、〇三〇万円<br>○小学校費 三、〇九九万円<br>○中学校費 一、四九九万円<br>○学校營繕費 三、三四二万円<br>○社会教育費 三四四万円<br>○教育施設費 二、二八九万円<br>○学校施設費 五一五万円<br>○公金需要 九八万円<br>○科学博物館費 三〇六万円<br>○公民館費 九六一五円                     |
| （注）教育諸費中の教育放送費一<br>三三円にについては、「長岡FM放送局設置議案の否決に伴い、從来どおりの教育放送を行ふ予算たる議案中の長岡社学生寮建築補助金に対しても「収容学生の選考基準ができたならば、それを議会に附帯してから執行されたい」の意見を附して議案を通りました   |

| 内訳              | (千円) |
|-----------------|------|
| 児童福社費           | 12   |
| 身体障害者福祉費        | 10   |
| 老病者福祉費          | 8    |
| 病者福祉費           | 6    |
| 身体正常化費          | 4    |
| 児童委員の報酬・季節保育所関係 | 2    |
| 合計              | 36   |



# 特 別 会 計

## その規模と内訳

231100500円

# 市台所の規模

す。市の台所がどんな規模で運営されるのか、市民のみなさんから良くなっています。ご理解とご協力を願いいたしたいと存します。では歳入の面から……。

## 一般会計

7 億 7.5 76 万円

入歳

歲入一覽表

歳 ても市税です。予算總額の半分以上を占めており、その割合は実に五九・二七強となっています。

ところどころの市税は主に市民税と固定資産税がその大半です。すなわち市民税が一億五、六〇〇万円で、固定資産税が二億五九五万円です。

このほかに自転車荷車税が凡三万円、たばこ消費税が一、九六一万円、電気ガス税が三、六三五万円、特定の事業を行う会社が納める鉱産税が五七万円、木材引取税が一萬円、入湯税が三六万円で、昨年の中途から創設された都市計画法に基づく都市計画事業費にあてるための都市計画税が一、二十四万円などが計上されています。

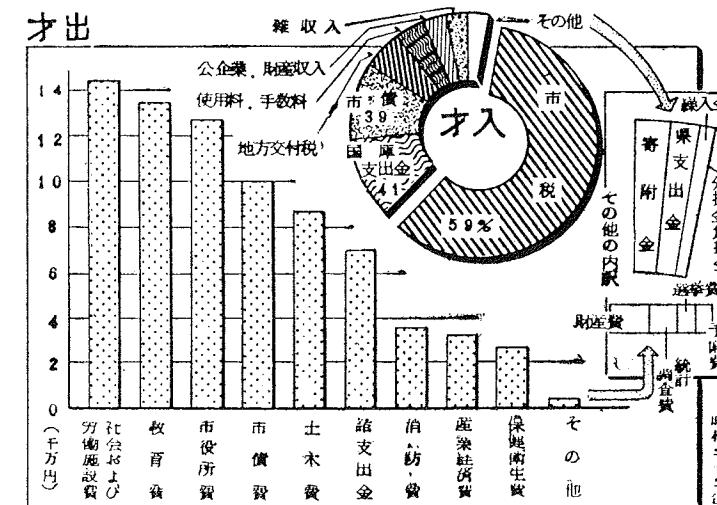
そのほかに歳入として計上されているもののなかには、地方交付税（所得税、法人税、酒税の収入額から）、それぞの一定割合の額で地方團体がひとしく行うべき事務を遂行されるよう市に交付する金額）四、五一万円、国、県の支出金九、五八五円（生涯保護費、児童福利費が五、〇八六万円を占めている）、財産収入が二、五〇〇万円余、市債八、三六五万円（下川西校、浦瀬校、柿田等の建設費、職員復興費、消防施設費、失業対策事業費等に充用）等であ

事業計画の大綱を成及び不均  
課税等について研究され、六月定  
例会までに措置することとし、そ  
れまでは賦課徴収はしないこと】  
との意見を附して議会では議決に  
なっています。

内での数字は三十一年度予算。  
では以下各款について説明いたします。  
議会費は議会に關するすべての  
費用です。  
まず市議会議員（定員三天六名の  
うち一名欠員の報酬費用弁償、  
議員報酬、それと議会事務局職員の  
給料、議員給料、議会運営に必要な  
需要費が計上されており、主なも  
のをひきつてみますと  
議員報酬 六三九万円  
職員給料 一三万円  
旅費（費用弁償を含む） 九四万円  
諸手当（議員、職員を含む） 一四三万円  
需要費 二八万円

なつてひます。

The diagram illustrates the budgetary process. On the left, a bar chart shows 'Income' (才入) with categories: 公企業、財産收入 (14), 使用料、手数料 (13), and 地方交付税 (12). An arrow points from this to a circular 'Expenditure' (支出) chart. The expenditure chart is divided into segments: 市債 (39), 市 (31), 国庫支出金 (41), 税 (17), and その他 (Other). Arrows point from the expenditure chart to a box labeled 'Expenditure' (支出) containing items like 繰入金, 寄附, 県支, 分担, and 市出.



研究費などのほか、庁舎及び各出張所の維持修繕費、それに消もう品、通信費、燃料費などが主に組まれています。

